

基調講演

<プロフィール>

長岡 昇（ながおか のぼる）

NPO「ブナの森」代表

元朝日新聞論説委員

地域おこしのNPOを主宰。新聞記者、論説委員として主にアジアを担当。アフガニスタン戦争、インドやインドネシアの政変、インド洋大津波の現場を取材、論評。

生年&出身： 1953年（昭和28年）、山形県朝日町生まれ

山形東高校卒、東京大学法学部卒

職歴： 1977年 東芝入社

1978年 朝日新聞入社。静岡、横浜、札幌、外報部で勤務

1992年～1995年 ニューデリー支局長

*アフガニスタン戦争やインドの宗教暴動などを取材

1996年 東京本社外報部次長

*連載「20世紀と石油」を担当し、中東の産油国を取材

1999年～2001年 ジャカルタ支局長

*インドネシア政変、東ティモール独立を取材

2001年～07年 論説委員として9・11テロ、インド洋大津波を取材、論評

2007年 フォーラム担当部長

2009年1月 朝日新聞を早期退職、4月から公募の民間人校長（山形県朝日町の大谷小学校長）

2010年4月 NPO「ブナの森」を立ち上げ、2012年から最上川縦断カヌー探訪を主催

2013年4月～2016年3月 山形大学プロジェクト教授

著書と主な記事

『未来を生きるための教育』（高橋章子との共著、かもがわ出版、2011年）

「ミャンマー軍によるロヒンギャ難民の虐殺」（1992年3月、朝日新聞）

「アフガニスタン・ナジブラ政権の崩壊」（1992年4月、朝日新聞）

「プラムディヤ物語」（2001年3月8日～3月16日、朝日新聞夕刊に連載）

*プラムディヤはインドネシアを代表する作家